

第4回鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会議事録

1 日 時 令和6年(2024年)8月22日(木) 10:00~12:10

2 場 所 鎌倉商工会議所 102 会議室

3 出席者 名簿のとおり

4 傍聴者 なし

5 次第

挨拶 教育文化財部長

新たな委員・幹事、事務局の紹介

議事

(1) 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定スケジュールについて

(2) 令和5年度県外事例調査結果概要

萩市

松本市

(3) 鎌倉市ふさわしい博物館のイメージについて

(4) その他

6 議事概要

【議事1 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定スケジュールについて】

委員長

議事1について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料3「鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定スケジュールの変更について」に基づき、事務局より説明。

委員長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等をお願いします。

委員長

基本計画策定は令和8年6月となり、先が長い状況です。スケジュール資料の中に「ワーキンググループ関係下話」とありますが、どのような内容ですか。

事務局

ワーキンググループの体制を検討するにあたり、具体的な活動内容について、庁内外の関係各所へ相談し、意見等をもらう予定です。

委員長

わかりました。委員の皆様、スケジュール変更についてご質問ご意見はありますか

委員

ワーキンググループについて、令和6年度の5月から7月にかけて関係各所への意見収集とありますが、どのようなところに意見を聞きましたか。

事務局

基本的には庁内、学校関係への意見収集を行いました。庁外については今後進めていく予定です。

委員長

本件につきましては、了承ということでよろしいでしょうか。

各委員

了解。

【議事2】 令和5年度県外事例調査結果概要

委員長

議事2について、事務局から説明願います。

【萩市・松本市】

事務局

資料4「令和5年度県外事例調査結果概要」に基づき、萩市、松本市の事例調査結果について、事務局より説明。

委員長

ありがとうございます。松本市の視察には委員も参加されましたが、何かありますか。

委員

報告の最後にあったように、情熱を持って取り組んで、どのようにまわりに広げるということは、熱意と積極性によって人と人が結びつけることができると実感しました。鎌倉市にも熱意を持っている人がたくさんいるので、参考にしてもらいたいです。

また、松本市は、松本城、市立博物館など惹きつけるものが多いです。それらを生かして来訪者に多くの楽しみを見つけ、滞在してもらうためにはどうしたらいいかということを考えて取り組んでいることがわかりました。

委員長

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見等ございましたらよろしくお願いします。

委員

視察の報告ありがとうございました。萩市、松本市の報告で、項目だてが違うのが気になります。項目立てが異なる経緯、意図について教えてください。

事務局

視察で持ち帰った結果を、後で合わせて検討する形をとったため、萩市、松本市での報告内容に異なる部分があります。そのため、比較しにくい部分もあります。

委員長

他にご質問ご意見等はございますか。

副委員長

鎌倉市であれば、対象となるのは文化財、社寺があります。萩市、松本市では、社寺が対象施設ではないようです。両市での社寺の位置づけについて、教えてください。

事務局

萩市の場合、聞く限りでは社寺について話はありませんでした。萩市の場合は、伝統的建造物群の調査によって集まったボランティアと行政を中心に事業が始まっています。鎌倉の場合には、社寺の参加は必要だと思います。

松本市の場合は、博物館の存続、分館の整理から始まっています。博物館の本館、分館の活用が当初の目的であるため、社寺が含まれていません。

委員長

ありがとうございました。これまでの委員会でも事例報告をしてもらいましたが、そのまま参考となる事例はなかったという印象です。鎌倉は、文化財・観光面で社寺のウェイトが極めて高いです。そこは他の自治体との大きな違いだと思います。この点を踏まえ、鎌倉の特徴を生かした形を検討の上、新しいイメージを提示してもらいたいです。他にご質問、ご意見はありますか。

委員

NPOの活動について、萩市の場合は受付、ガイド、お土産ショップ、レストランなどを運営しているかと思います。ボランティアの方々が無給でやっているのか。それとも持ち出しでやっているのか気になりました。鎌倉市でも今後、NPOとの協働が考えら

れるので、この点について教えてください。

事務局

ボランティアは無償の部分が多く、レストランスタッフも薄礼とのこと。そのため、モチベーションに差があり、サービスの維持が難しいと聞いています。

松本市の場合は、無償でやっているのが現状です。今後は、市民学芸員として、市内ガイドなどの活動の中で、謝礼をもらえるようにしたいと考えています。

委員長

ありがとうございます。他にご質問、ご意見等がありますか。

委員

萩市ですが、市民が「おたから」を発見して、認定するということですが、「おたから」になる基準がどのように設けられており、実際に市民が発見した「おたから」の数はどれくらいありますか。

事務局

「おたから」の基準は設けられていて、ホームページなどに掲載されています。「おたから」シートを提出してもらい、会議に諮って認定されていきます。具体的な数はわかりませんが、地図でお見せします。

委員

「おたから」の登録と活用の関係ってというのはなかなか難しいのですか。

事務局

「おたから」に登録した後の活用が課題とのこと。

委員長

他にご質問、ご意見等がございますか。なければ、本件については、了承ということよろしいでしょうか。

各委員

了解。

【議事3】 鎌倉市にふさわしい博物館のイメージについて

委員長

議事3について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料5「鎌倉市にふさわしい博物館の基本的なイメージについて」に基づき、事務局より説明。

委員長

ありがとうございました。広範囲にわたる説明でしたが、ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見ございましたら、よろしくお願いします。

委員

鎌倉の歴史的な文化財ということで、古い文化財をイメージしますが、もう少し新しい近現代の歴史もあります。例えば鎌倉の文士、絵画、漫画などがあるので、このハブにもなるということかなとイメージしています。

例えば、市内を巡る時、どこに詳しい資料があるのかと思う人もいます。今流行っているアニメゆかりの場所はどこか、というようなこともあります。その他にもあるので、そういったもののハブになることも目指した方が良いと思います。そういうものをこの計画でイメージしていました。

ただ、膨大な作業となると思うので、先ほどの説明にあった部分から進める形でも良いと思いますが、やらなければならないことが多く、大変であると感じました。クラウドファンディングや他の何かをするにあたっても、鎌倉の文化といえるものに範囲を広げた方が、良いのではないかと思います。市内には、鐺木清方美術館だとか、川喜多映画記念館もあります。そういうところも含めることで上手くいくと感じています。名称の前にそのハブとなるものについて、しっかりと検討していくべきです。

例えば市役所が移転した後に、そこには何かができます。その場所に、いろんな分野の美術館や何でもできるような空間、これから考えられる市役所移転後の土地の利活用の中で、そういう空間を作ることも考えてもよいのではないのでしょうか。

そうすれば、様々なことが当てはまると思います。説明があった（仮称）鎌倉ミュージアム構想をやるのであれば、「文士がどこにいた」、「この景色はどこなのか」といったことなどが漏れてしまう部分があると感じました。最初は難しくても、いずれ加えていくことができればと思います。大変だということはわかりますし、やらなければならない課題があることもわかります。次の検討課題ということであれば、それでも構わないですが、まずは、（仮称）鎌倉ミュージアム構想について、共通認識を持った方が良いかと思いました。

委員長

歴史的な文化財という点では明治時代以降も当然含まれると思います。例えば中央図書館の近現代史資料室の資料は、日々増えているという状況です。そういった点も含めて、本計画で全体を再構築する必要があると理解しています。事務局からの説明

をお願いします。

事務局

想定している構成遺産には、近世、近現代以降の資料も含まれると考えています。ただ、学芸員による専門的な知識に基づく必要があり、学芸員が対応できる範囲が目安になります。今後は、鐮倉清方美術館、川喜多映画記念館などの学芸員とも協力して、それぞれの専門性を生かした方法を検討していきます。どこまでを含めるかについては、今後検討していなければならないと考えています。

委員長

ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ありますか。

委員

鎌倉市は、埋蔵文化財や社寺など立派なものがたくさんあるので、それが優先課題であることは理解しています。しかし、近現代の例えば、趣味人や著名人であるとか、そういった人たちの資料が、世代交代した際にしっかり管理して、鎌倉の文化の一つとして散逸せず、受け入れる体制を整備していただきたいです。こういう機会に、受け入れる体制を整備し、今後の鎌倉の文化の散逸を防ぐ形を作ることを含めて検討していく必要があると思います。

予算に関わりますが、人が集まる、次の何かを作るためにできることに對して、積極的に取り組んでいただきたいです。大河ドラマの時は、鶴岡ミュージアム、鎌倉歴史文化交流館、鎌倉国宝館で展示を開催するなど、様々な取り組みがありました。例えば、少しマイナーなことでも、そこから鎌倉への興味が広がると思います。どんなきっかけでもいいので、鎌倉が好きだからまた来たい、住みたいと思える要素の一つでも多く作れたら良いと思います。参考になるかわかりませんが、小田原の江之浦測候所ですが、杉本博氏が収集した資料が展示されており、世界中から観光客が来ています。そういった場所も、参考にしていきたいです。

事務局

今回のフィールドミュージアムでは、把握していくことが目標です。市ですべて引受けるのは、難しい部分があるため、その大切さを伝える活動をするということになると思います。資料区分にも関係しますが、線引きしつつ、重要なものは受け入れられる体制を検討していく必要があるかと思っています。

委員長

他にご意見、ご質問等ありますか。

委員

これまので委員のご意見は、観光協会にも言われていることなのかと感じました。全部を網羅することは素晴らしいことですが、やはり役割分担が必要であると思います。観光基本計画と歴史的風致維持向上計画など、全部組み込んでいかないといけなくなります。観光的視点で整理しないといけない点と、博物館として整理しないといけない点があるので、その部分は検討していく課題だと思いました。

事務局

説明の中では、連携や役割分担について、明確に盛り込むことができていません。今後、計画を策定するにあたり、盛り込んでいきます。できれば、良い形での連携を考えていますので、相談の上進めていきます。

委員長

学びの場との関連もありました。教育の場から見て、委員の先生方は、ご意見等がありますか。

委員

現状、子どもたちと博物館というのは、やはり距離が少なからずあります。説明の中では、小・中学生の学習の場を盛り込んでいるのは、とても良いと思いました。鎌倉の子どもたちは、鎌倉のことを深く知識として得ることができない時代になっています。学習の中で、例えば調べ学習で地域を知るなど、学び方を学ぶ時代になっています。小学校の中学年から、教育委員会が作成した「かまくら」から鎌倉の文化や産業などを学びます。小学校の高学年になり鎌倉巡りなどで市内を巡る調べ学習を行います。

（仮称）鎌倉ミュージアム構想はとても良いと思いますが、先ほども他の委員の方が言っていましたが、内容が膨大です。何年かけて、何人で取り組むのかといった部分が気になります。どれも重要なことですが、博物館として取り組んでいかないとやりきれないと思います。デジタル化は、進めていく必要がありますが、デジタル化も膨大な内容となるので、どれくらいの期間でやりきれるかという点は気になりました。

常時更新しながらやっていくことになりますが、たくさんやれば良いということでもないと思うので、内容を焦点化していく必要もあります。

事務局

委員が言うように、膨大な作業となります。そこは、我々も懸念しているところです。事務局としては、息長く続ける取り組みとして行う必要があると考えています。完成形が見えるまでに何十年もかかってしまうかもしれませんが、継続していくことが大事であると思います。アクションプランの中で、具体的にモデル地区を設定して

実施することで、どれ位の人数が必要で、どれ位の時間がかかるのかという部分を把握できるので、そこから長期的な計画を立てていきます。

学びの場について、フィールドミュージアムでは、地域ごとに分けて、地域に密着した歴史、文化財の調査を想定しています。可能であれば、学校単位まで絞っていきたいと考えており、この活動の中で学校と学びの場として、一緒に取り組むことができればと考えています。

委員

鎌倉検定など、鎌倉に関わることについて子供たちも含めて多くの人たちが、自分の興味をもとに調べ、考えて、正しい歴史が何かといことも含めて、検討している人がたくさんいます。そのような人たちを少しずつ加えることも一つだと思います。

また、博物館が全部作り、教えるのではなく、一緒に探り、そこから何を築いていくかということに取り組んでもよいのではないのでしょうか。そういった学びに学校も変わってきています。データ整理ばかりでなく、みんなで楽しみながら博物館の資料を見て、探っていけるようなヒントになることに焦点を当てる必要もあります。何かあればそこから広がり、みんなでいろいろと発想を広げて楽しめるものにしていくと思います。範囲を広げ過ぎず、大事な部分を残して取り組んでももらいたいです。

事務局

博物館としては、学び方を学ぶという点を押し出したいと考えています。フィールドワークは博物館でよく実施しますが、調べ方などは、いろいろなことに結び付けることができると思います。

委員

同じになりますが、資料整理だけでなく、気付きを与えるきっかけは、中学生ではより深くなります。気づいて自発的にやることで鎌倉の魅力をより深く知ることができると思います。鎌倉の魅力を知った上で、修学旅行に行くと、地域の文化の違いに気づくこともできます。この経験から、自分事として発見するというイメージができるようになると、ただ資料があるだけではなく、子どもたちの中にフィールドミュージアムが浸透していくのではないかと思います。

委員長

最近の教育現場では、主体的な学びということで、ハードルが高くなってきています。そこに合わせるのは大変ですが、いろいろな気づきのヒントを与えられるようにできれば良いと思います。

委員長

先ほども言いましたが、鎌倉の特異性に社寺があります。計画の中でどのように関わるのか、具体的に説明がありませんでしたが、いかがですか。

委員

説明を聞く限りでは、寺社がどのように関わっていくのかということがわかりにくかったのですが、どのように考えているのでしょうか。

事務局

是非、協力をお願いしたいと考えています。特に、寺社のみなさんにはワーキンググループ中に入ってもらうことを想定しています。寺社は地域の拠点でもあります。現在まで、地域の歴史とともに歩んでいます。フィールドワークの調査をお願いするだけでなく、地域の学びの場として、一緒に取り組みたいと考えています。

委員長

他の委員でご意見などはありますか。

委員

様々なご意見があるので、集約することは難しいです。膨大な内容なため、時間がかかる作業だと思います。神社、寺院においてもそれぞれに事情があります。実際に動く際は、綿密な説明により、内容齟齬がないようにしていただきたいです。

委員長

他に何かご意見、ご質問等がありますか。

委員

ワーキンググループの中に自治会という言葉がないが、実際には関わっていく予定はありますか。それとも、自治会に協力を仰ぐ予定はないですか。

事務局

自治会に協力を仰ぐ予定です。地域ごとに、どこにアプローチするかは、変わってきますが、是非とも協力して取り組みたいと考えています。

委員

地域の歴史を洗い出すことが目的にあると思いますが、地域の人たちの郷土愛を育むということも目的の一つです。別の自治体になりますが、ある石塔が開発により消滅した事案があります。やはり、これは地元の人が文化財の大切さに気づいていないために起きた事案だと思います。計画の中には、永続的な文化財保存の取り組みもあり

ますが、地域の人たちが地域の歴史に誇りを持つことに、結び付けば良いと思います。

委員長

ありがとうございました。議事3につきましては、本日の説明の内容について了解したということでよろしいでしょうか。

各委員

了解。

委員長

ありがとうございます。最後に委員のみなさん、事務局から何かありますか。

事務局

第5回委員会は、令和7年1月頃の開催を予定しています、日程については、11月頃に調整させていただきます。

委員長

議事は終了しましたので、進行を事務局に戻します。

事務局

皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。また、委員長におかれましては円滑に議事進行していただきありがとうございました。説明にあったように本事業は、市の重点施策に位置付けられています。今回、幹事として参加している関係各課とも連携を図りながら、計画の策定を進めていきたいと考えています。

以上をもちまして第4回鎌倉市にふさわしい博物館基本計画策定基本計画等策定委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

(以上)